

あざぶ まちづくり研究会だより

筋生区回覧板でもこのたよりをご覧ください
まち研ブログは「筋生の研究」で検索してみてください

Vol. 123

'22. 3. 1

春の活動予定

3月1日(火)まちづくり研究会便り 123号発行
3月13日(日)13:30~14:30 川清掃
(雨天、増水の場合は中止します)
飛び入り参加大歓迎
☆川清掃終了後放流会打ち合わせ
※川清掃は概ね奇数月第2日曜日に行っています。
3月27日(日)14:00~放流会
ホタルの幼虫を放流します
参加歓迎します(筋生区民限定です)
予備日 4月2日(土)14:00
詳しくは、ホタル橋(禮善寺前の橋)欄干の
掲示物をご覧ください
随時「折戸川にホタルを飛ばそう会」との情報交換

冬の活動報告

2月1日(火)まちづくり研究会便り 122号発行
1月16日(日)10:00~11:00 川清掃

予想以上に雪が見られた冬でしたね
今冬が寒かったのか、それとも
これくらいが普通であるべきなのか?

まち研こぼれ話

1, 今年もホタルを放流します

まちづくり研究会では、毎年ホタルの幼虫を養殖して放流しています。以前(と言っても20年以上前のことです)は筋生地内どこにでもヘイケボタルがいましたが、今ではごく狭い範囲に細々と棲息している状況です。研究者によると、ホタルはその昔農業の発展で水路がはりめぐらされたおかげで生息域を広げ、その数を増やしたそうです。でも、近年では水路の埋設や農薬の使用など、農業が近代化したことや、都市化による夜間照明の増加など、ホタルにとっては棲みにくい環境になってきたため、数を減らしてしまいました。ただ、ここところ田んぼにタニシ(ヘイケボタルの幼虫のエサになります)が増えてきたり、冬間水のある田んぼができたりと、都合の良いこともちらほら。もしかしたらヘイケ復活につながるかもと期待しているところです。

ゲンジボタルも一時放流され、その子孫が見られたものの、数年前に一度絶えてしまいました。ヘイケより水質にうるさいゲンジですが、下水が完備されたことで筋生地内の川にも期待が持てるようになってきました。

コロナでどこにも行けない初めての年だった一昨年は、慰めるようにゲンジが多く飛んでくれて、地元の方に見ていただくことができました。昨年はゲンジの数は少なかったものの、筋生産のヘイケを蓮田に羽化させることができました。生き物と自然が相手なので、なかなか思うようにはいきませんが、今年もめげずに養殖していますのでぜひ放流から見に来てください。

私たちは、ホタルの棲めるような環境が、人にも優しい環境だと思っています。スイセンの小路は10年計画で端から端まで植え付け終わりましたが、ホタルが自然発生するまでにこぎつけるには何年かかることやら。ホタルのおかげで元気に長生きさせてもらえると思って頑張っています。**ホタルの放流会は3月27日 日曜日 午後2時からの予定です**



※ あざぶまちづくり研究会 連絡先 ※

筋生公民館ポスト または 加藤志津香 090-8181-0546